

して強く反動的に下へ降して左掌の上に右手人差指の指頭で×字を書く。

飛行機 (イ) 五指の指頭を左にさし掌を下に向けた右手。五指の指頭を右にさし掌を下に向けた左手、両手を僅かな間隔をおいて上下平行にして(昔の復葉飛行機の形)そのまま前方へ進ませる。(ロ) 五指の指頭を右にさし掌を下に向けた左手掌(飛行機の翼)の手前に右の人差指をグルグル廻わしながら(プロペラー)前に連ませる。

久しい 「長い」と同じ手まね。

密かに 「内証」と同じ手まね。

ひたすら 「一生懸命」と同じ手まね。

美談 感心——話。

筆談 左手の掌の上に右手でペンか鉛筆を持って文字を書く真似をしてから、左手を前にさし出し、それを引込めると、これも掌を上に向けた右手を交替に前に出す。文字を書

いた紙を交換し合うこと。

人(人々) 親指(男性)と小指(女性)

を同時に出し、他の三指は折り曲げられている。その両手の姿態のまま胸の前辺りに位置させてから、宛う首を振るように、両の手首をグルグル動かして左右に離して行く。

これは、「人」と云う単数よりは寧ろ「人々」と云う複数を意味している。

ひどい (イ) 「大へん」と同じ手まね。(ロ) 心——冷い——大へん——行い(酷い仕打ち)

独り 胸に人差指の指頭をつけ、それを上へはねて、胸から離して、その指頭を上になさす。自分独りの意味。

ひねくれる 「心」(または「考」)の手まねをして、両手の集め合わせた五指の指頭を左右につけ合わせてねじる。

日延べ 「延期」と同じ手まね。

必要 「入用」と同じ手まね。

等しい 「一縮」「同じ」と同じ手まね。

秘密 「内証」と同じ手まね。

暇 (イ) 仕事—ない—休む (両手の掌を上に向け、夫々両膝に置く)。 (ロ) 「退屈」と同じ手まね。

病氣 頭痛の時にするように、拳で額の上を叩たく。

病院 「医院」と同じ手まね。

開く 「開ける」「始める」と同じ手まね。

昼 五指の指頭を上にかしし掌を前向けにした両手を顔の前で交叉してそれを左右に勢よく左右に離す。「明るい」の手まね。

日和 「晴れ」と同じ手まね。

平等 「普通」「平均」と同じ手まね。

貧苦 貧しい—悩み。

フ

不安 「心配」「恐れる」と同じ手まね。

不運 運—悪い。

笛 両手で横笛或は立管(たてに吹く笛)をつ夫々の手の姿態をして、五指の指頭で笛の穴を塞さぎ開く運動をして、口で吹く真似。

風習 一般(掌を下に向けた右手を左胸脇辺りから前方へ弧を描いて右へ)—習わし。

風船 掌を向い合わせた両手の五指(凡てまるく屈めたのを夫々互の指頭でつけ合わせ、両手で一つの球状をつくり、それへ口をつけ息を入れ、球状をふくらませるように両手を左右に抜げて離す。

夫婦 右の男性(親指)と左の女性(小指)を胸の前辺りで合わせる。